

# 金城学院中期計画

(2020年度～2024年度)

2019年8月8日

学校法人 金城学院

## 第3期中期計画(2020年度～2024年度)

### 建学の精神

金城学院は、1889年、静養のために名古屋に寄港したアメリカ人宣教師アニー・ランドルフが日本における女性への教育に対する社会的認識が低いことを憂い、私費を投じて私塾を開設し、福音主義キリスト教に基づく専門知識と全人教育を実施したことに始まります。

### 金城学院の使命

金城学院の使命は、建学の精神である福音主義キリスト教に基づき、「主を畏れることは知恵の初め」をスクールモットーとし、真理の探究を行うとともに、全人教育を行い、真理と正義を愛し、世界的な格差にも目を配りつつ、世界の平和と人類の福祉に貢献する品格を備えた女性を育成することです。

金城学院が創立された時代と比べると格段に男女差別は解消されつつありますが、いまだ男女間格差は存在しています。この格差を解消するためには、女性の地位の向上が必要です。そのために、女性の持てる力を発揮できるように、女性に特化した教育を今後も推進していきます。

社会の一員でもある金城学院は、社会に貢献する必要があります。産業界や行政等と連携を図りながら、研究や社会連携を通し、また、社会人等に対して生涯にわたる多様な学びの場を提供することを通して社会に寄与しなければなりません。

### 中期計画項目

金城学院の使命を達成するために、4つの視点からビジョンを定めました。

- 1 教育研究の推進と学習支援
- 2 地域社会との共生
- 3 環境整備
- 4 健全経営の維持

## 1 教育研究の推進と学習支援

学院の使命にあるように、「主を畏れることは知恵の初め」をスクールモットーとし、真理の探究を行うとともに、全人教育を行い、品格を備えた真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する女性を育成しなければなりません。また、主体的に学び、行動できる人材、グローバル化の中で、異なる言語、世代、立場を超えてコミュニケーションできる人材の養成が求められています。本学では、従来から国際理解を持つ自立した女性の育成を行なってきましたが、より一層、この点を意識して推進します。具体的には、

- 1 福音主義キリスト教に基づいた品格のある女性
- 2 自ら課題を発見し、解決できる女性
- 3 国際理解を持つ自立した女性

を育成します。そのため、次の視点から検討し、実施します。

### 大学アクションプラン

#### ■キリスト教主義に基づく全人教育、研究の推進

- 1 キリスト教主義に基づく全人教育
  - ① 礼拝出席の奨励
  - ② 学生の企画・参加型礼拝の実施
  - ③ 近隣教会への出席の奨励
  - ④ 金城アイデンティティ科目におけるキリスト教学関係科目の整備
  - ⑤ 教職員に対する修養会および学生向バイブル・キャンプの充実
- 2 自ら課題を発見し、解決できる教育
  - ① アクティブラーニング等を通じた能動的な学びへの転換の推進
  - ② リーダーシップ教育の推進
  - ③ ラーニング・コモンズや図書館の整備と利用の促進
- 3 国際理解の教育
  - ① 交流協定校の拡大と受け入れ・送り出し留学生の増加
  - ② CASEC スコアの経年変化を基礎とした英語教育体制の運用と改善
  - ③ 金城コア科目における英語および外国語科目の整備
  - ④ 学内環境における多言語化の推進
- 4 研究の推進
  - ① 科研費等の競争的外部資金における申請・分担参加の奨励
  - ② 学内助成や特別研究期間制度の整備と利用の促進

- ③ 女性みらい研究センターを中心とした地域社会支援プログラムの開発・研究

## ■学生支援の推進

### 1 教学面での支援

- ① 学修ポートフォリオ等を活用した教育体制の構築
- ② ルーブリック等による客観的な成績評価の確立
- ③ カリキュラム・マップに基づく履修体制の整備と改善

### 2 生活面での支援

- ① 学生・キャリア支援センター・教員の三者連携による就職支援の充実
- ② 学生の課外活動やボランティア活動における支援体制の整備
- ③ 学生のマナー向上の推進
- ④ 受け入れ・送り出し留学生の経済的支援の充実

## ■学生の受入の推進

### 1 質の高い学生の確保

- ① アドミッション・ポリシーに基づいた入学者選抜の整備
- ② 入学者選抜における「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法の確立
- ③ 新たな大学入学者選抜制度に対応する本学入試の検討

### 2 高大連携、接続

- ① 中高大教育協議会等の活用を通じた学校間における相互理解の拡充
- ② 中高“Dignity”ルーブリックとの連続性を踏まえた高大接続の強化

## ■教学マネジメント体制の推進

- ① 全学的な内部質保証体制の整備と運用
- ② 3ポリシーの一体的運用を根幹とした教育課程の編成と学修成果の評価の実施
- ③ ディプロマ・ポリシーに基礎付けられた教学のPDCAサイクルの確立
- ④ アセスメント・ポリシーの適切な運用と改善
- ⑤ 「学生自己評価各期ごとのDP対応ルーブリック」を通じた学修成果の可視化
- ⑥ 外部試験の複数回実施によるコンピテンシーの経年的把握とその向上
- ⑦ 「卒業に関わる科目のルーブリック評価」を用いた学位授与体制の確立
- ⑧ 定期的な授業評価の実施とVOX POPの作成・公表による教育力の向上

## 中学校・高等学校アクションプラン

### ■キリスト教主義による全人教育の推進

- ① 生徒の企画・参加型礼拝の実施
- ② 近隣教会への出席の奨励
- ③ キリスト教教育実施体制の再構築
- ④ 幼中高教師修養会の充実
- ⑤ 教員のキリスト教学校教育同盟研修会への参加の奨励
- ⑥ 宗教主事の果たすべき役割の見直し
- ⑦ キリスト教学校教育同盟との連携による「道徳の教科化」への対応

### ■生徒支援の推進

#### 1 教科教育の研究・充実

- ① 「科学的思考」「表現」「協働」する力の育成を目指す授業改善の推進
- ② 高等学校新学習指導要領の新教科「理数探究」「論理表現」の研究開発
- ③ 6年一貫カリキュラムの推進
- ④ “Dignity”を土台として、全ての教科、教育活動で「言語技術」「課題研究力」の育成
- ⑤ 英語と社会の合科“World Studies”に加えて、教科横断型学習の実践研究の充実
- ⑥ 中高大共同研究の推進。中高“Dignity”ルーブリックと大学「ディプロマ・ポリシー(DP)ルーブリック」に連続性を持たせ、大学卒業後に社会で活躍するための汎用的能力を身につけさせる。
- ⑦ 2020年度に中学1年から高校1年にタブレットを導入する。これによって生徒の探究活動、ポートフォリオ作成、家庭学習の充実を図る。
- ⑧ 観点別評価の研究

#### 2 カリキュラムマネジメントの推進

#### 3 中高連携した進路指導体制の整備・充実

- ① 生徒一人ひとりの将来目標の実現を支援するため、新しい時代に相応しいキャリア教育の推進
- ② 入試の多様化について情報収集し、対応方法などを検討
- ③ 調査書及び指導要録の様式の改定

### ■生徒の受入の推進

- ① 入試研究部における中学入試改善の研究
- ② 英語利用入試の内容検討
- ③ 思考力を測定する入試の研究

- ④ 金城サポート奨学金ジュニアハイの効果を検証
- ⑤ 企画広報室を中心に広報活動の充実

### ■教学マネジメント体制の推進

#### 1 カリキュラム研究部における探究力育成の研究

- ① 教育目標図に示されている「科学的思考」「表現」「協働」を育成する授業の開発支援
- ② 「科学的思考」「表現」「協働」の3つの力が、教育プログラムによって発展・育成されたか効果測定を行うための教科ルーブリックの作成
- ③ 教育課程表の形式の改善
- ④ 21世紀型学力の研究開発
- ⑤ アドミッション、カリキュラム及びディプロマの各ポリシーの作成
- ⑥ 生徒の多様な学習成果や活動の評価方法の研究・開発

#### 2 探究学習や観点別評価に対応するための教師研修会の実施

## 幼稚園アクションプラン

### ■キリスト教主義に基づく全人教育の推進

#### 1 キリスト教主義に基づく全人教育

- ① 教育スローガン「愛され、育ちあう。」の実践
- ② キリスト教幼児教育に基づく教育課程の実践と検証
- ③ 礼拝を通し「聖話、聖句、讃美、主の祈り」などを幼児の心に刻み、神の愛を身近に感じながら自己に与えられた力を活かしつつ、他者と共に生きる感謝と喜びを知っていく。
- ④ 園児の教会出席の推奨

#### 2 自ら課題を発見し、解決できる教育

- ① 主体的な活動を重視した教育の実践
- ② 異年齢クラス編成による教育の充実
- ③ 主体的活動と連動させた年齢別活動やクラス活動の充実
- ④ カリキュラムの検討、行事の見直しや改善
- ⑤ 魅力ある園庭作りと整備

### 3 国際理解の教育

- ① 「英語であそぼう」の教育活動や大学留学生との交流などを通し、言語、文化、考え方の違いなどに気付き多様性を学ぶきっかけとする。
- ② クリスマス献金やバザーによる支援金などを通し、国内外の状況を知り、自分達に出来ることを考える機会とする。

#### ■園児支援の推進

##### 1 教学面での支援

- ① 主体的な遊びを促すための、環境設定や素材の充実
- ② 個別支援記録の活用と改善
- ③ 保護者と教員との連携強化
- ④ 小学校や療育機関との連携

##### 2 生活面での支援

- ① 基本的な生活習慣確立のための環境設定の検証と改善
- ② 保護者との定期個人懇談会、日常の情報交換の強化

#### ■園児の受入の推進

##### 1 園児の確保

- ① 幼稚園説明会、幼稚園体験会の充実
- ② 未就園児の幼稚園見学、園庭開放の拡大と充実
- ③ 2歳児プレ幼稚園の充実
- ④ ホームページの充実
- ⑤ KIDS センターとの連携強化

#### ■教学マネジメント体制の推進

##### 1 教育体制

- ① チーム保育の充実
- ② 支援児担当教員の配置および連携
- ③ 療育機関との連携
- ④ 2022年度幼稚園設立50周年を機に教育体制の見直しと強化
- ⑤ 大学各学科の学生・教員との連携

##### 2 教育力向上

- ① 研究会参加
- ② 公開保育、園内外研修への積極的参加による質の高い保育強化

## 2 地域社会との共生

社会の要請に応じ、産業界や行政等と連携を図りながら、研究や社会連携を行います。また、社会人等に対して生涯にわたる多様な学びの場を提供します。そのため、次の視点から検討し、実施します。

### 大学アクションプラン

#### ■研究成果の社会への還元

- ① 教育・研究活動成果物のリポジトリ等を活用した発信のいっそうの促進
- ② 各種講座、講演会、KIDS センターの子育て支援活動等を通じた地域社会への研究成果の還元

#### ■生涯学習

- ① 女性みらい研究センターを中心とした、本学の理念にふさわしい生涯学習に関わるプログラムの開発と実践
- ② 卒業生との連携をより密にとれる体制の構築

#### ■産学官連携、地域連携

- ① 地域社会の発展に貢献することを目的とした、企業、地方公共団体、「大学コンソーシアムせと」等との連携推進
- ② 守山区との連携によるまちづくり、地域福祉向上、産業振興及び教育・文化・スポーツの振興及び発展のための活動推進

### 中学校・高等学校アクションプラン

#### ■産学官連携、地域連携

- ① キャンパスの地域への開放
- ② 地域奉仕活動への参画

### 幼稚園アクションプラン

#### ■産学官連携、地域連携

- ① 大学との連携強化
- ② 発達支援児やアレルギーを持つ子どものための療育機関や病院との連携
- ③ 地域の方へ行事参加案内、花の日やクリスマスを通し感謝を表す計画



### 3 環境整備

KMP21 が順調に実施され、現在、最終である大学の第 3 フェーズが実施されています。今後の環境整備の方針等について検討します。

#### 法人アクションプラン

##### ■新たな教育・研究活動等に対応した環境整備

- ① KMP21 大学第 3 フェーズ実施に伴う E1 棟竣工及び周辺外構整備
- ② E3、E4、E5、W5 号館解体に伴う跡地の有効な計画の策定と実施
- ③ 新学部開設に伴う学習環境整備

### 4 健全経営の維持

財政基盤の強化策、ガバナンス、組織の適切性、ブランド力向上等について次の視点から検討し、実施します。

#### 法人アクションプラン

##### ■財政基盤の強化

- ① 合理化・効率化による収益性向上
- ② 安定的な資産運用・活用
- ③ 財源多様化による収入基盤の強化

##### ■ガバナンス

- ① 理事会・評議員会・監事機能の強化
- ② 情報公開の推進

##### ■ブランド力向上

- ① 戦略的広報活動の推進
- ② 卒業生との繋がり強化